



SAMSUNG

SyncMaster 151MP

SyncMaster 171MP

TFT液晶多機能モニター
取扱説明書

よりよい画面を見るためには

1. 最高の画質をお楽しみいただくために コンピューターのコントロールパネルで解像度と走査率を下記のように合わせて下さい。

TFT液晶ディスプレイは最適の解像度でない場合 画質が均等にならないことがあります。

- 解像度： 15" 1024 × 768 ● 垂直周波数： 60 Hz
17" 1280 × 1024

2. 本製品は99.999%以上の精密度を持つ 最先端半導体の技術で製造されたTFT液晶ディスプレイパネルを使用しました。

しかし 時々 赤、緑、青、白等のピクセルが明るく光って見えたり、黒のピクセルが何個か見えることがあります。これは不良製品ではありませんので 安心してご使用下さい。

- 参考に 本製品に適用したTFT液晶ディスプレイのピクセルは 2,359,296(15")、3,932,160(17")個です。

3. モニターをクリーニングする時は、乾いた柔らかい布に お奨めしている洗浄剤を少量つけて拭いてください。

液晶の表示部の場合には 力を入れないで軽く こすって下さい。強すぎる力が加わった場合、染みがでることがあります。

4. 画質が満足できない場合には、ウィンドウの終了ボタンを押して出てくる画面の状態で“AUTO ADJUSTMENT”(自動調整)機能を実行させると より良い画質を現すことができます。

自動調整した後にもノイズが発生する場合には、微細調整(FINE/COARSE)をして下さい。

■ ご注意

- ・ 本取扱説明書の無断複製を禁止します。
- ・ 本取扱説明書の内容は、お客様に予告なく変更される場合があります。

Copyright ©2001サムスン株式会社

■ 商標・登録商標について

- ・ 当社のロゴと本製品名「SyncMaster」は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- ・ VESA®、DPMS、DDCはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。
- ・ ENERGY STARの名前とロゴはU.S. Environmental Protection Agency(EPA)の登録商標です。本製品はENERGY STARの参加事業者として、ENERGY STARの省エネルギー促進のガイドラインを満たしています。
- ・ 各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全にご使用していただくために.....	2
準備.....	6
同梱物の確認.....	6
各部の名称とはたらき.....	7
リモートコントローラーでのみ使用できる機能.....	11
セットアップ.....	12
調整/設定.....	14
グループOSDについて.....	14
OSDについて.....	15
OSDの操作のしかた.....	15
各調整/設定について.....	17
液晶モニターの調整/設定.....	17
OSDの設定.....	17
PC画面調整.....	25
画像の調整.....	20
画像サイズの調整.....	21
画質異状.....	22
サウンド(音)の調整.....	23
PPの調整.....	24
テレビを見るには.....	25
テレビ チューナー ボックスの接続 (オプション).....	25
NTSC放送システムについて.....	26
ビデオ画像(ピクチャー)の調整.....	32
サウンド(音)の調整.....	33
アクティブ 領域の設定.....	33
タイマーの設定.....	33
DTVを見るには.....	34
サウンド(音)の調整.....	35
スクリーンサイズ設定.....	35
付録.....	36
節電機能(Power Saver).....	36
画面モード.....	37
収納可能スタンドについて.....	38
アームを取り付けるには.....	39
液晶モニターのお手入れのしかた.....	42
困ったときは.....	42
仕様.....	45
アフターサービス.....	48
索引.....	49

安全にご使用していただくために

ご使用の前に「安全にご使用していただくために」を必ず読み、よく理解して安全にご使用ください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示の欄は、守らなかった場合に死亡または重傷を負う可能性のある内容です。
 注意	この表示の欄は、守らなかった場合にけがや物的な損害を受ける可能性のある内容です。
	禁止の行為を表しています。 例えば ㊞ は「分解禁止」を表します。
	必要な行為を表しています。 例えば ❶ は「必ず行う」を表します。

警告



電源コードについて

取り扱いを誤ると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工する、無理にねじ曲げる、束ねて結ぶ、引っ張る、重いものを上に載せるなどの行為をしない。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電源コードに熱機器を近づけない。



取り扱いについてのご注意

水や異物などを入れない

火災や感電の原因となります。

- 風呂場や水辺、雨天時の野外など、本製品に水がかかるような場所では使用しない。
- 本製品の通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだりしない。
- 本製品に水や異物などが入るのを防ぐため、本製品の上に水の入った容器や植木鉢、化粧品、薬、小さな金属類（安全ピン、ヘアピンなど）を置かない。



分解しない

電気ショートや感電の原因になります。

- 内部には電圧の高い部分があるので、キャビネットを開けて分解しない。
- お客様ご自身で修理、点検や改造をしない。



異常がある場合は

次の場合は、直ちに電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後「お客様ご相談ダイヤル」に修理をご依頼ください。そのまま使いつづけると、火災や感電、けがの原因となります。

- 異常な音がする、変なおいがする、煙が出ている。
- 電源コードが傷ついた（芯線の露出、断線など）。
- 本製品に水をこぼした、または内部に異物が入った。
- 本製品を落とした、またはキャビネットを破損した。

⚠ 注意



設置場所について

次のような場所には置かないでください。機器の落下によるけがや故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところ。
- 湿気やほこりの多いところ。水場に近いところ。
- 暖房機器のそばなど、高温になるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- 風通しの悪い狭いところ。
- 磁石やスピーカーなどの磁力を発生する機器が近くにあるところ。



設置のしかたについて

次のような置きかたをしないでください。機器の故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因になることがあります。

- 通風孔をふさいでしまい、内部の温度が上昇してしまうような狭いところに置く。
- 仰向けや横倒しに置く。
- じゅうたんの上や布団のような柔らかいものの上に置く。



ACアダプターについて

取り扱いを誤ると火災や感電の原因となることがあります。

- ACアダプターは、本製品に付属されたもの以外は使用しない。また、本製品用のACアダプターを他の機器に使用しない。
- ACアダプターを布や布団などで覆ったりしない。



液晶画面について

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶画面を強く押したり、硬いもので触ったりしない。
- 液晶画面に衝撃を与えない。



電源プラグをコンセントから抜く

次の場合は、火災や感電など思わぬ事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜きます。

- お手入れをする場合。
- 本製品を移動させる場合。
- 旅行などでしばらく使わない場合。



接続するときは

次の点にご注意ください。けがや感電の原因となることがあります。

- 接続するときは電源を切り、取扱説明書に従って正しく接続する。
- 外部オーディオ機器や市販のケーブルを使用する場合は、接続する前にこれらの取扱説明書も読む。



移動するときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 電源ケーブルをコンセントから抜き、接続コードを取り外す。



お手入れするときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶の表面を清掃するときは、まず電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で乾拭きする。
- キャビネットを清掃するときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布などで乾拭きする。汚れがひどい場合は、布をいったん中性洗剤を薄めた水に浸し、かたく絞ってから拭き取る。その後、再度乾いた布などで乾拭きする。
- 誤って本製品に水がかかってしまった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で水分を拭き取る。その後、十分に乾かしてから、電源プラグをコンセントに差し込む。

長期間安心ご使用していただくために、年に1回程度の清掃を「お客様ご相談ダイヤル」にご依頼ください。

準備

■ 同梱物の確認

このたびは、当社液晶モニター（151MP/ 171MP）をお買い求めいただきありがとうございます。お使いいただく前に、以下の付属品が揃っているかご確認ください。万一不足しているものがあった場合は、おそれいりますが、48ページの「お客様ご相談ダイヤル」にご連絡ください。



カラーユーティリティー
& インストールドライバ



電源コード



チューナー ボックス
（オプション）



保証書
（日本国内においてのみ
有効となります。）



液晶モニター



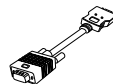
リモートコントローラー



取扱説明書（本書）



D-Sub15ピン信号ケーブル



D4 to D-Sub アダプター



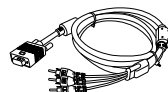
ステレオケーブル



DCアダプター



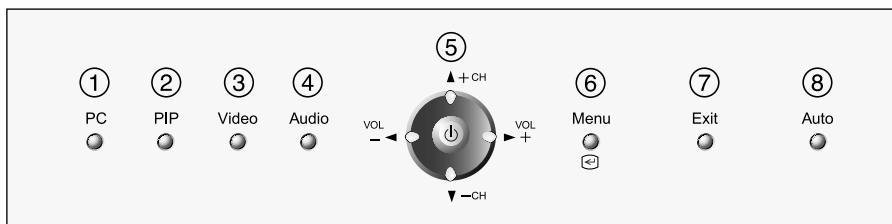
単4電池(2本)



RCA DTV ケーブル

■ 各部の名称とはたらき

フロントパネル



① PC

- PC ソースが選択されます。
- PP ウィンドウを閉じます。

② PP(ピクチャーインピクチャー)

- PIP(ピクチャー イン ピクチャー) ウィンドウがPC モードで直接有効になります。
- ビデオ ソース(ビデオ、S-ビデオ、テレビ)が選択されます。

③ Video(ビデオ)

- ビデオ ウィンドウが最大化されます。
- ビデオ ソース(ビデオ、S-ビデオ、テレビ)が選択されます。

④ Audio(オーディオ)

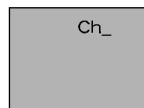
- オーディオ ソース(PC、ビデオ、テレビ)が選択されます。

⑤ Power(電源)/電源ランプ

- 液晶モニターの電源をオン/オフします。
- 液晶モニターの状態を示します。
 - 緑色 : 通常の状態です。
 - オレンジ: 節電モードになっている、または信号ケーブルがはずれています。

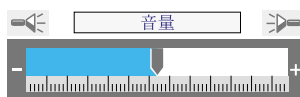
[▲][▼]

- OSD内の強調表示を上下に移動します。
 - CH +
- チャンネルを選択します(OSDが表示されてないとき。)



[◀][▶]

- OSD内の強調表示を左右に移動します。
- 選択した機能の数値を変更します。
 - VOL +
- 音量を調節します(OSDが表示されていないとき)。



⑥ MENU(メニュー)

- OSD(P. 15「OSDについて」参照)を開きます。

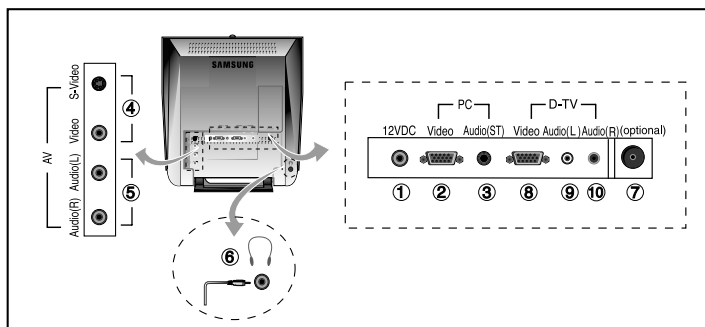
⑦ Exit(終了)

- OSD(P. 15「OSDについて」参照)を終了します。
- PIR(P. 24「PIPの調整」参照)を終了します。

⑧ Auto(オート)

- 受信したビデオ信号に応じてモニターが自動調整されます。
- 粗調整、微調整、位置が自動的に調整されます。

背面



① 12V DC電源端子

■ DCアダプターのアダプタージャックを接続します。

② PC(Video)端子

■ コンピューターにつないだ信号ケーブルを接続します。

③ Audio(ST)端子

■ コンピューターにつないだステレオケーブルを接続します。

④ AV(Video/S-Video)端子

■ オーディオ機器 (S-VHS、ビデオデッキ、ビデオカメラなど) につないだビデオケーブルやS-VHSケーブルを接続します。
(ビデオケーブルや S-VHSケーブルは含まれていません。)

⑤ AV(Audio(R)(右音声), Audio(L)(左音声))端子

■ オーディオ機器の音声出力端子につないだ RCA -ステレオケーブルを接続します。(RCA - ステレオケーブルは含まれていません。)

⑥ ヘッドフォン出力(Head Phone)端子

■ ヘッドフォンジャックを接続します。

⑦ アンテナ(Antenna)入力端子

■ アンテナ接続プラグを取り付けたアンテナケーブルを接続します。

⑧ D-TV(Video)端子

■ DTV セットトップ ボックスにつないだD4 to D-Sub アダプター、RCA DTV ケーブルを接続します。

⑨ ⑩ D-TV(Audio(L)(左音声),Audio(R)(右音声))端子

■ DTV セットトップ ボックスにつないだビデオケーブルを接続します。

リモートコントローラー

■ Power On/Off

電源のオン、オフをします。

■ PC

PC 画面をオンします。

■ PIP

PC 画面に小さな画面を表示して接続したオーディオ機器の映像を見る

■ PIP 位置

■ Menu

OSD (p.15 「OSDについて」参照) を表示します。

■ Mute

音声を消音にします。

■ チャンネルボタン

チャンネルを選択します。

■ Display

ビデオソース/オーディオソース/チャンネル表示/サウンドモード/オーディオミュートをオン、オフします。

■ Auto

粗調整/微調整/ポジションが自動的に調整されます。

■ Channel search

チャンネルを検索します。

■ Source Control keys

- ・ PC (コンピューター)
- ・ PIP (ピクチャーインピクチャー)
- ・ Video (ビデオ)
- ・ Audio (オーディオ)

■ Audio

オーディオソースを選択します。

■ Video (TV/VCR)

テレビ/ビデオデグィを選択します。

■ PIP Size

PIPサイズを調整します。

■ Volume

音量を調整します。

■ Channel

チャンネルを1チャンネルずつ切り替えます。

■ Exit

OSD(p.15 「OSDについて」参照)を画面上から消します。

■ Previous channel

現在のチャンネルの前に選択していたチャンネルに切り替えます。

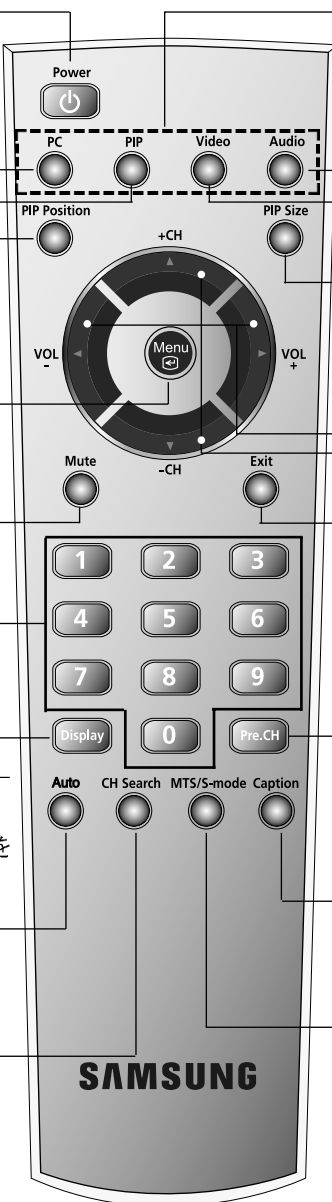
■ Caption

字幕 (closed caption)を表示します。

■ MTS-mode(米国のみ有効)

S-mode(ヨーロッパのみ有効)

音声多重放送の音声を切り替えます。



リモートコントローラーでのみ使用できる機能 表示

選択したビデオ ソース、オーディオ ソース、現在のチャンネルの音声モード、およびミュートがスクリーンの右上に表示されます。

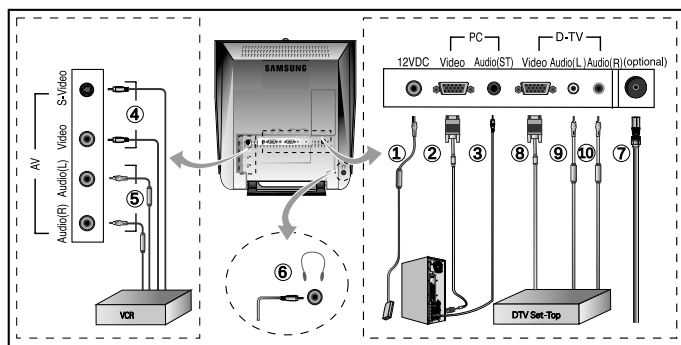
- Video Source: _
- Audio Source: _
- CH/Mono
- Sound Mute:off

■ セットアップ

リモートコントローラーの準備

- 1 リモートコントローラーの背面の電池カバーをはずす。
- 2 電極を確認して付属の単4電池を2本挿入し、電池カバーを元に戻す。

液晶モニターのセットアップ



1 コンピュータの接続 (① ② ③)

- A. 電源コードを DC アダプターに接続し、アダプター ジャックをモニターの背面にある 12V DC 電源端子に接続する。
- B. 15 ピン D-Sub ビデオ信号ケーブルをモニターの背面にあるビデオ端子に接続する。
- C. ステレオ ケーブルをモニターの背面にある音声 (ステレオ) 端子に接続し、ケーブルの反対側の端子をコンピュータのサウンドカードの音声出力端子に接続する。
- D. コンピューターと液晶モニターの電源を入れる。画面が表示されたら適切に設定されたことになります。

① 注意 画面が映り、ビデオドライバーの選択メッセージが表示されたら、システム内にあるドライバーを検索してください。本製品に最適なドライバーがない場合は、付属のCD-ROMを使ってコンピュータにインストールしてください。ドライバーのインストール方法については、CD-ROMのパッケージをご覧ください。

E. フロントパネルの**Auto**ボタンを押し、画面の自動調整を行う。

- ❶ **注意** 初めてAutoで自動調整を行ったときに画面が現れない場合があります。(p.12「セットアップ」参照)。その場合は、お客様のコンピューターの画面設定で、解像度を1024X768ピクセルに設定した後、再度Autoを使って自動調整を行ってください。

2 外部 A/V 機器の接続(④ ⑤)

A. ビデオ (黄色) または S-VHS ケーブルをビデオ デッキ、ビデオカメラなどの外部 A/V 機器に接続する。

(ビデオケーブルや S-VHSケーブルは含まれていません。)

B. RCA -ステレオケーブルを音声入力端子 (R (右)、L (左)) に接続し、ケーブルの反対側の端子を A/V 機器側の対応する出力端子に接続する。**(RCA - ステレオケーブルは含まれていません。)**

C. ヘッドフォンをモニターの左側にあるヘッドフォン出力端子 (⑥) に接続する。

- ❶ **注意** ヘッドフォンを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出ません。

3 テレビまたはケーブルテレビの接続 (⑦)

A. アンテナまたはケーブルテレビ用のケーブルをモニターの背面にあるアンテナ端子に接続する。

- ❶ **注意** オプションのテレビ チューナーが必要です。オプションのテレビ チューナーは当社モニター販売店にてご購入いただけます。

4 DTV 用セットトップ ボックスの接続 (⑧ ⑨ ⑩)

A. DTV 用 D4 to D-Sub ケーブルをモニターの背面にある DTV ファンクションのビデオ ポートに接続する。

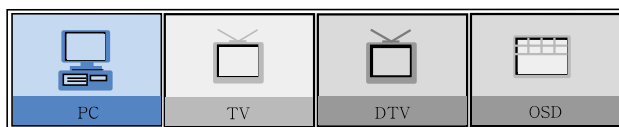
B. ビデオケーブルをモニターの背面にある音声入力端子 (R (右)、L (左)) に接続し、ケーブルの反対側の端子をセットトップ ボックスの音声出力端子に接続する。

- ❶ **注意** このモニターはDVDのY、Pb、Pr 出力をサポートしていません。

調整/設定

■ グループOSDについて

モニターの設定によって OSD の画面は異なります。



オプションのテレビチューナー付き



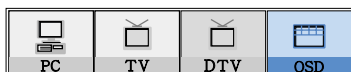
オプションのテレビチューナーなし

OSD メニューの中には、特定の操作モードでは無効となりグレーで表示されるものもあります。これらのメニューはそれぞれが使用できるモードになった場合のみ有効になります。

- ① 注意 ・ OSDから各機能の設定を変更して約 5 秒以上 **(Menu)** を押さないと、自動的に変更した内容が保存されます。
- ・ OSDが画面に表示されてないときに **(Menu)** を 5 秒押し続けると、設定内容を変更できないように固定することができます。ただし、PCグループの明るさ、コントラストとTVグループのチャンネル(Channel)、音量(Volume)とコントロールボタンのダイレクトアクセスキー(PC、PIP、ビデオ(Video)、オーディオ(Audio)、チャンネル(channel)、音量(Volume)、メニュー(Menu)、Exit、オート(Auto))とリモコンのすべてのダイレクトアクセスキーの変更は可能です。再度 **(Menu)** を 5 秒以上押し続けると固定を解除できます。固定されたときはOSDの機能アイコンの中に明るさとコントラストを除いたすべて無効となりグレーで表示されます。

■ OSDについて

OSD(オンスクリーンディスプレイ)とは、液晶モニターを調整/設定するための画面です。フロントパネルとリモートコントローラーのどちらでも操作ができます。



グループOSD画面



機能OSD画面

■ OSDの操作のしかた

- 1 **Menu** を押す。グループOSDが表示されます。
- 2 **[◀][▶]** でアイコンを選択する。選択されているグループアイコンが強調表示されます。
- 3 再度 **Menu** を押す。選択された機能OSDが決定され、メニュー画面が表示されます。

- ① 注意 ・ グループOSDメニューの中には、グレーで表示されてアイコンは選択できません。
- ・ これらのメニューを使用できるモードにするにはp.12の「セットアップ」を参照してケーブルを接続し、フロントパネルとリモートコントローラーのPCまたはVideoボタンを押してください。

- 4 [◀][▶]でアイコンを選択する。選択されているアイコンが強調表示されます。
- 5 再度 **Menu** を押す。選択されたアイコンが決定され、メニュー画面が表示されます。
- 6 [▲][▼][◀][▶]で、メニュー画面の選択項目を選ぶ。様々な画面の調整や設定をすることができます。
- 7 **Menu** を押して各機能の調整や設定を決定する。各機能についてはp17「各調整/設定」をご覧ください。
- 8 **Menu** を押して、[▲][▼][◀][▶]で各機能のサブメニューの項目を選択する。
- 9 **Menu** を押して、サブメニューで選択した項目の調整/設定をする。
 - ① 注意 ・調整/設定は **Menu** を押すことで決定しますが、機能によっては **Menu** を押さずに手順10へ進みます。
- 10 OSDを画面上から消す場合は、本体フロントパネルの **Exit** を押すか、リモコンの **Exit** を押す。
 - ① 注意 ・機能によっては、機能メニュー内にサブメニューがあります。サブメニューからOSDを消すときなど表示状態によって、 **Exit** を押す回数が変わります。

■ 各調整/設定について

各調整/設定の操作説明は、フロントパネルとリモートコントローラーのどちらにも対応しています。カッコで囲まれた操作説明は、フロントパネルとリモートコントローラーを使った別の操作方法を示しています。

- ❗ **注意** 2時間以上電源を切っていた場合は、電源を入れた20分後から調整を行ってください。

操作の見かた

(Menu) マーク : メニューボタンを押します。

アイコンマーク : OSD内に表示されます。フロントパネルの[◀][▶]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します。

□ マーク : 選択したアイコンの設定バーに表示される選択項目(サブメニュー)です。再度メニューボタンを押した後[▲][▼][◀][▶]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します(機能によってはメニューボタンを押さずに、Exitボタンを押してOSD画面を消すと決定します)。

■ 液晶モニターの調整/設定

■ OSDの設定

OSDの表示言語を変える

操作 **(Menu)** ➡  ➡ 

- ❗ **注意** 言語は한국어(韓国語)、English(英語)、Japanese(日本語)、Español(スペイン語)から選択します。

OSDの表示位置を変える

操作 **(Menu)** ➡  ➡ 

OSDの背景を不透明にする

操作 (Menu) →  → 

OSDの表示時間を変える

操作 (Menu) →  → 
[5/10/20/50/200]秒

OSDのピープ音を設定(切/入)する

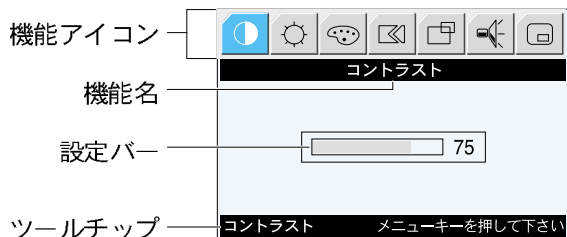
操作 (Menu) →  → 

❶ 注意 OSDグループはどのグループアイコンを選択しても設定することができます。

■ PC画面調整



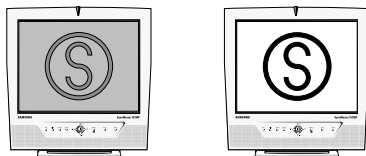
グループOSD画面



機能OSD画面

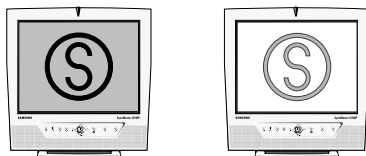
画像の輪郭をはっきりさせる

操作 (Menu) →  → 



画像を明るくする(暗くする)

操作 (Menu) →  → 



画面の色を赤みがかった白色にする

操作 (Menu) →  →  → (MODE1)

画面の色を白色にする

操作 (Menu) →  →  → (MODE2)

画面の色を青みがかった白色にする

操作 (Menu) →  →  → (MODE3)

画面の色をお客様の好みに調整にする

操作 (Menu) →  →  → (ユーザーモード)

画面の色を工場出荷時の状態に戻す

操作 (Menu) →  →  → (リセット)

画像の調整

画像のノイズを取り除く

操作 **Menu** →  →  → **画像ロック** → **粗調整** / **微調整**

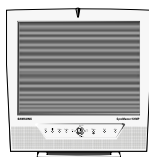
❗ 注意 微調整が正しく調整できないときは、最初に粗調整を行い、その後微調整を行ってください。

 を行うと、画像の横幅が変更されることがあります。

その場合は、  を使用して画像を中央に移動させてください。(p.22「画像を横軸方向に移動するときは」参照)。



粗調整が悪い画面



微調整が悪い画面

現在の画面モードを確認する

操作 **Menu** →  →  → **画像ロック** → **インフォメーション**

画面設定を工場出荷時の状態に戻す

操作 **Menu** →  →  → **画像ロック** → **リセット**

画像サイズの調整

画像サイズを画面いっぱいにする

操作 (Menu) →  →  → 画面サイズ → 拡大モード 1

❗ 注意 この機能を使用すると、画像の縦と横のサイズの比率が変わることがあります。

画像サイズを縦と横の比率を保ちながら拡大する

操作 (Menu) →  →  → 画面サイズ → 拡大モード 2

画像をそのままのサイズで表示する

操作 (Menu) →  →  → 画面サイズ → 通常

画像を拡大する(最大64倍まで拡大できます)

操作 (Menu) →  →  → 画面サイズ → ズーム

拡大した画像を移動する

操作 (Menu) →  →  → 画面サイズ → パノラマ

画質選択

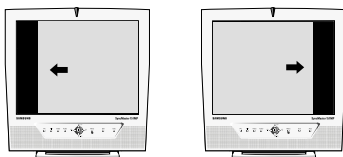
画像に効果(シャープにする/ぼやかす)を加える

操作 (Menu) →  →  → 画質選択

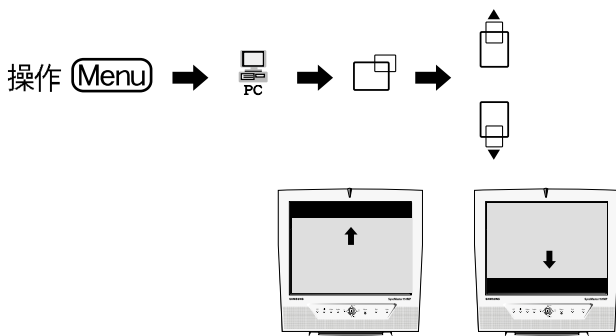
- ① 注意
- ・ あらい 画像をよりシャープにする。
 - ・ ややあらい 画像を少しシャープにする。
 - ・ 普通 画像をややあらいとややソフトの中間くらいで調整する。
 - ・ ややソフト 画像をぼやかす。
 - ・ ソフト 画像をよりぼやかす。

画像を横軸方向に移動する

操作 (Menu) →  →  →  



画像を縦軸方向に移動する



サウンド(音)の調整

低音を調整する

操作 **Menu** →  →  → **低音**

高音を調整する

操作 **Menu** →  →  → **高音**

サラウンドを切/入に切り替える

操作 **Menu** →  →  → **サラウンド**

PIPの調整

PIP画面のサイズを変える

操作 (Menu) ➡  ➡  ➡ サイズ ➡ 小/大

(リモートコントローラーのみ : PIP Size ➡ 切/小/大)

- ❶ 注意 ・ PIP(ピクチャーインピクチャー)とは、接続したオーディオ機器の映像を小さな画面に表示して、使用中の画面上で見ることができる機能です。フロントパネルの (PIP) を押すことでPIPを表示することもできます。(p.7「各部名称とはたらき」参照)
- ・ PIP機能はコンピューター画面を表示中にのみ使用することができます。
 - ・ PIPを押すとPC+TV、PC+DTV、PC+Video、PC+S-Videoに切り替える。

PIP画面の位置を変える

操作 (Menu) ➡  ➡  ➡ ポジション

(リモートコントローラーのみ : PIP Position ➡ [▲][▼][◀][▶])

- ❶ 注意 (PIP) ポジションは (PIP) 画面が表示中にのみ調整することができます。

PIP画面を消す

操作 (Exit)

- ❶ 注意 (PIP) サイズのOSDが表示中には [切] を選択することで (PIP) 画面を消すことができます。

■ テレビを見るには

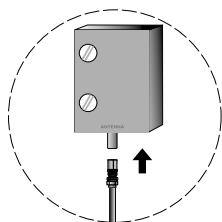
出荷時には電波放送のチャンネルが設定されていますが、各地域に対応したチャンネルに変更したり、ケーブル放送を見るために設定を変更したりすることができます。

テレビチューナー ボックスの接続

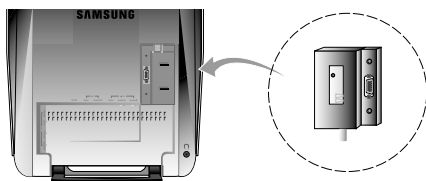
1 DC アダプターを外す。

2 チューナー ボックスの蓋を取り外す。

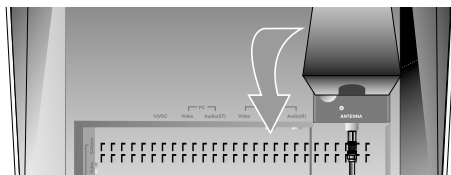
3 アンテナまたはケーブルテレビ用のケーブルをチューナー ボックスのアンテナ ポートに接続する。



4 チューナー ボックスをモニターの背面にあるチューナー ボックス用スペースに挿入する。
硬貨などを利用して 2 つのネジをしっかりと締め、チューナーを固定する。



5 チューナー ボックスに蓋を取り付ける。



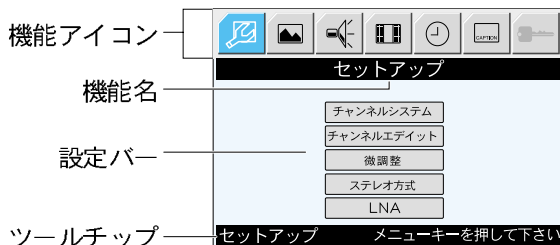
6 DC アダプターの電源コードを接続するとテレビ機能の使用が可能になる。

NTSC放送システムについて

テレビチューナーはNTSC放送システムに対応しています。NTSC放送システムとは世界各国で採用されている放送システムです（p.37表3「NTSC放送システム」参照）。各調整/設定の機能メニューには日本以外で使用する項目が表示されますが、国内使用の項目を選択してください。



グループOSD画面



機能OSD画面

チャンネルシステムを設定する

電波放送かケーブル放送かを設定します。

- 1 アンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続する。
- 2 フロントパネルのVideoボタンを押し、TVを選択する。
- 3 **[Menu]** を押す。OSDが画面に表示されます。
- 4 **[◀▶]** を使って を選択し、**[Menu]** を押す。選択項目が表示されます。
- 5 **[◀▶]** を使って を選択し、**[Menu]** を押す。選択項目が表示されます。

6 **チャンネルシステム** が選択されてるのを確認し、**Menu** を押す。
チャンネルシステムの選択項目が表示されます。

① 注意 チャンネルシステムの項目には以下の選択項目 (p.37
表3 「NTSC放送システム」参照) が表示されます。

- ・US-Air ・Japan-Air
- ・US-cable ・Japan-cable

7 **[▲][▼]** を使ってチャンネルシステムを選択する。

① 注意 電波による放送に接続するには「Japan-Air」を、ケーブルによる放送に接続するには「Japan-Cable」を選択してください。

8 **Menu** を押す。チャンネルシステムを設定すると、チャンネル自動設定というメッセージが表示されます。

① 注意 ・70 チャンネルを検索するには平均 8 分間かかります。
チャンネルの検索にかかる時間は、その地域で見ることができるチャンネルの数によって異なります。
・TVメニューのチャンネルシステム()はテレビ チューナーを取付けた場合のみ使用できます。
テレビ チューナーを取外してある場合には、メニューはすべてグレーで表示され、移動もできなくなります。

チャンネル追加/消去する

チャンネル検索終了後にチャンネルを追加したり、必要のないチャンネルを削除できます。

1 [◀][▶]を使って  を選択する。

2 [◀][▶]を使って  を選択す。

3 [Menu] を押し、[▲][▼]を使って **チャンネルエディット** を選択する。

4 [Menu] を押す。設定バーに**追加**と**消去**が表示されます。

5 チャンネルを追加する場合は**追加**を、チャンネルを消去する場合は**消去**を[◀][▶]を使って選択する。

❗ 注意：チャンネルを消去するために**消去**を選択した場合は、
[Menu] を押してチャネルを消去した後、再度手順 1 から手順
6を繰り返します。（手順6では**追加**を選択してください。）

6 [Menu] を押す。チャンネルの追加(消去)が終了します。

受信感度(微調整)を調整する

チャンネル自動設定で検索したチャンネル、または追加したチャンネルの受信状態が悪いときに使用します。

- 1 **[Menu]** を押す。OSDが画面に表示されます。
- 2 **[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 3 **[Menu]** を押し、**[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 4 **[Menu]** を押し、**[▲][▼]** を使って **[微調整]** を選択する。
- 5 **[Menu]** を押す。微調整画面が表示されます。
- 6 **[◀][▶]** を使って、受信状態を調整します。
- 7 微調整が終了したら、**[▼]** を押す。 **[記憶]** か **[取消]** を選択できるようになります。
- 8 調整状態を保存する場合は **[記憶]** を、保存せずにチャンネル自動設定で検索した受信状態のままにする場合は **[取消]** を選択する。
- 9 **[Menu]** を押す。受信感度の調整が終了します。

テレビの映像が明るすぎる（暗すぎる）、ぼやけている、色が悪いときなどは、OSDを表示してお好みの状態に調節してください。（p.32「ビデオ画像の調整」参照）。

ステレオ方式を設定する

日本国内で利用できる方式を選択してください。

- 1 **[Menu]** を押す。OSDが画面に表示されます。
- 2 **[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 3 **[Menu]** を押し、**[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 4 **[Menu]** を押し、**[▲][▼]** を使って **[ステレオ方式]** を選択する。
- 5 **[Menu]** を押す。ステレオ方式の選択項目が表示されます。

❗ **注意** ステレオ方式の項目には以下の選択項目（p.37表3「NTSC放送方式」参照）が表示されます。

- ・ A-2 韓国
- ・ BTSC-アメリカ、カナダなど。
- ・ EIA J-日本

- 6 **[▲][▼]** を使って **[EIA]** を選択し、**[Exit]** を押す。ステレオ方式の設定が終了します。

❗ **注意** 何もボタンを押さないでOSDが自動的に画面から消えても、選んだ項目が設定されます。

- ・ テレビの音声を調節したいときは、OSDを表示してお好みの状態にしてください。（p.23「サウンドの調整」参照）。

LNA (受信感度増幅)

アンテナの受信感度がよくない場合、信号を自動的に増幅させる機能です。

- 1 **[Menu]** を押す。OSDが画面に表示されます。
- 2 **[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 3 **[Menu]** を押し、**[◀][▶]** を使って  を選択する。
- 4 **[Menu]** を押し、**[▲][▼]** を使って **[LNA]** を選択する。
- 5 **[Menu]** を押す。LNA (Low Noise Amplifier)機能選択項目が表示されます。
- 6 **[◀][▶]** を使って **[入]** を選択し、**[Exit]** を押す。
LNA 機能の設定が終了します。

① 注意 LNA 機能が動作する時に、受信信号によって混信されると、LNA(Low Noise Amplifier)機能が誤動作する場合がありますので、こういう時にはLNA機能を止めて下さい。

ビデオ画像(ピクチャー)の調整

オーディオ機器の映像のコントラストを変える

操作 **[Menu]** →  →  → **[コントラスト]**

- ① 注意 オーディオ機器（ビデオデッキ、テレビなど）のぼやけている画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定したコントラストには影響しません。

オーディオ機器の映像の明るさを変える

操作 **[Menu]** →  →  → **[明るさ]**

- ① 注意 オーディオ機器（ビデオデッキ、テレビなど）の明るすぎる（暗すぎる）画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した明るさには影響しません。

オーディオ機器の映像をシャープにする

操作 **[Menu]** →  →  → **[画質]**

- ① 注意 オーディオ機器（ビデオデッキ、テレビなど）の輪郭がはっきりしない画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した画質には影響しません。

オーディオ機器の映像の濃度(色調)を変える

操作 **[Menu]** →  →  → **[濃度]**

- ① 注意 オーディオ機器（ビデオデッキ、テレビなど）の画像の濃度(色調)を調整するときに使用します。この機能を使用してもコンピューターのRGBで設定した濃度(色調)には影響しません。

オーディオ機器の映像の色合いを変える

操作 **[Menu]** →  →  → **[色合い]**

- ① 注意 オーディオ機器（ビデオデッキ、テレビなど）の色合い(トーン)を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した色合いには影響しません。

オーディオ機器の映像の色を工場出荷時の状態に戻す

操作 **[Menu]** →  →  → **[リセット]**

サウンド(音)の調整

低音を調整する

操作 **[Menu]** →  →  → **[低音]**

高音を調整する

操作 **[Menu]** →  →  → **[高音]**

サラウンドを切/入に切り替える

操作 **[Menu]** →  →  → **[サラウンド]**

アクティブ 領域の設定

イメージのアクティブ 領域をNarrow(狭い)またはWide(広い)に設定する。

操作 **[Menu]** →  →  → **[Narrow]** / **[Wide]**



Narrowの画面



Wideの画面

❗ 注意 この機能は PP では使用できません。

タイマーの設定

自動的に液晶モニターの電源をオフにする

操作 **[Menu]** →  →  → **[切]** / **[30分]** / **[60分]** / **[120分]**

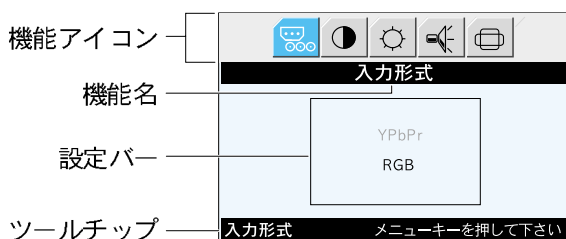
❗ 注意 タイマーの設定はコンピューター画面を表示しているときには使用できません。

■ DTVを見るには

本製品にはDTV放送システムに対応していますので、DTV用セットトップボックスとケーブルを接続(p.13 「DTV用セットトップボックスの接続」参照)するだけでDTVを見ることができます。



グループOSD画面



機能OSD画面

DTVの入力形式を設定する

操作 **[Menu]** → → → **[YPbPr]/[RGB]**

❶ 注意 入力形式が異なると、モニターには何も表示されません。

DTVの映像のコントラストを変える

操作 **[Menu]** → →

❶ 注意 DTVのぼやけている画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定したコントラストには影響しません。

DTVの映像の明るさを変える

操作 **[Menu]** → →

❶ 注意 DTVの明るすぎる（暗すぎる）画像を調整するときに使用します。この機能を使用しても、コンピューターのRGBで設定した明るさには影響しません。

サウンド(音)の調整

低音を調整する

操作 **Menu** →  →  → **低音**

高音を調整する

操作 **Menu** →  →  → **高音**

サラウンドを切/入に切り替える

操作 **Menu** →  →  → **サラウンド**

スクリーンサイズ設定

DTVのスクリーンサイズを設定する

操作 **Menu** →  →  → **16:9** / **フル**



16:9画面



フル画面

■ 節電機能(Power Saver)

本製品は「Power Saver」(パワーセーバー)と呼ばれる消費電力を管理する機能を搭載しており、コンピューターの電源設定をロウパワーモードにすることで使用できます。長時間操作をしない状態が続くと自動的に節電機能が働きます。本機能はコンピューターが「電源オン」、「スタンバイ」、「スリープ」、「ディープスリープ」のモードのときに有効となります。「Power Saver」(パワーセーバー)はコンピューターにインストールされているVESA®ビデオカードのDPMS(Display Power Managerial Signaling)機能が働くと節電モードになります。この機能を設定するには、コンピューターにインストールされているソフトウェアを使用してください。詳細については以下の表1をご覧ください。

表1. 節電モード

状態	通常動作	節電機能モード(EPA/NUTEK/ENERGY 2000)		
		スタンバイモード	スリープモード ポジションA1	ディープスリープモード ポジションA2
水平同期 垂直同期 ビデオ	有り 有り 有り	無し 有り —	有り 無し —	無し 無し —
電源ランプ	緑	オレンジ	オレンジ点滅 (0.5秒間隔)	オレンジ点滅 (1秒間隔)
消費電力	151MP: 40W(最大) 171MP: 52W(最大)	3W以下	3W以下	3W以下

- ① **注意** 節電モード中にコンピューターのマウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりすると、節電モードからノーマルモードに切り換わります。

本機はEPA ENERGY STAR®、NUTEKとENERGY2000に対応しています。

節電のため、長時間使用しないときは液晶モニターの電源をオフにしてください。

■ 画面モード

リストは、製造時に最適化されたスクリーンイメージです。

表2. プリセットタイミングモード

モード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VGA	720X400	31.469	70.087	28.322	－/＋
	640X480	31.469	59.940	25.175	－/－
	640X480	37.500	75.000	31.500	－/－
	640X480	43.269	85.008	36.000	－/－
SVGA	800X600	46.875	75.000	49.500	＋/＋
	800X600	53.674	85.061	56.250	＋/＋
XGA	1024X768	48.363	60.004	65.000	－/－
	1024X768	60.023	75.029	78.750	＋/＋
	1024X768	68.677	84.977	94.500	＋/＋
SXGA (171MPのみ)	1280X1024	63.981	60.020	108.000	＋,－/＋,－
	1280X1024	79.976	75.025	135.000	＋/＋

表3. NTSC放送システム

カラー システム	サウンド システム	ステレオ システム	チャンネル システム	国
NTSC	M	A2	US	韓国
		BTSC※1 (SAP)	US	アメリカ、カナダ、チリ、ベ ネゼイラ、キューバ、コロン ビア、ジャマイカ、メキシコ、 パナマ、ペルー、フィリピン、 プエルトリコ、台湾
		EIAJ※2	日本	日本

※1 BTSC : Broadcast Television System Committee

※2 EIAJ : Electronic Industries Association of Japan

■ 収納可能スタンドについて

液晶モニターのスタンドは折りたたんで収納することができます。

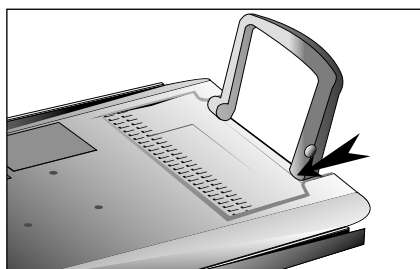


- ① 注意
- ・ 傾ける角度は後ろ方向へ最大15度です。決められた角度以上に力を入れて液晶モニターを傾けると、収納スタンドの機能を著しく損なう恐れがあります。
 - ・ 液晶モニターを折りたたむとき（p.39「収納可能スタンドを収納するには」参照）、「FOLD」ボタンを押してもスタンドとモニターの接続部分が固くて折りたたみにくいことがあります。折りたためないときは無理をせずに、「お客様ご相談ダイヤル」までご相談ください。

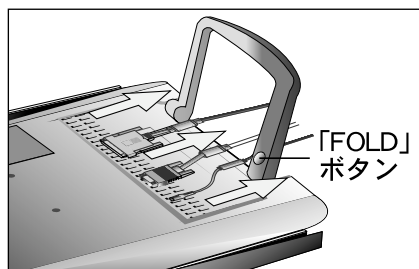
■ アームを取り付けるには

アームタイプのスタンドを取り付けることによって、空間を有効に利用しながら好きな位置で液晶モニターを使うことができます。VESA® 規格アームの使用をご希望の場合は、48ページの「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。別売りのVESA® 規格のアームを使用するには、最初に液晶モニターの収納可能スタンドを折りたたみます。

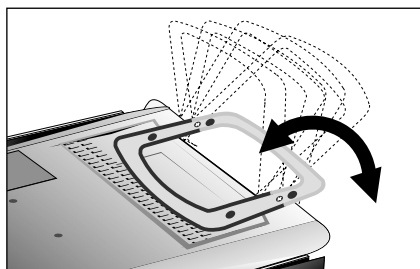
収納可能スタンドを収納する



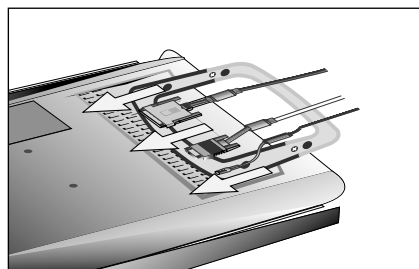
①



②



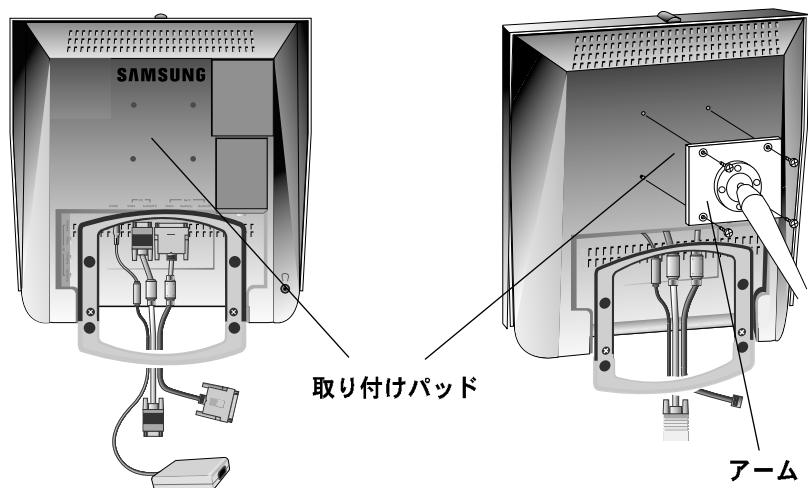
③



④

- 1 安定した場所に画面を守るためのクッションまたはやわらかい布などを敷き、図①のように画面を下にして液晶モニターを置く。
- 2 液晶モニターに接続されているすべてのケーブルをはずす。
- 3 収納可能スタンドの[FOLD]ボタンを押し、収納可能スタンドが垂直になる位置まで後ろの方へ傾ける。
- 4 手順2ではずしたケーブルを同じ位置に接続する。
- 5 アームを装着する準備が整いました。

VESA® 規格のアームを取り付ける



- 1 アームの接続部分を、液晶モニター背面の取り付けパッドに合わせる。
- 2 アームに同梱されている4本のネジで、液晶モニターとアームの接続部分をしっかり固定する。

■ 液晶モニターのお手入れのしかた



感電を防ぐため、液晶モニターのキャビネットを分解しないでください。お客様が液晶モニターを修理することはできません。

お手入れは、以下に説明されている方法に制限されます。

- 液晶モニターを掃除するときは、液晶モニターの電源コードを電源プラグから抜いて行ってください。
- 液晶モニターを掃除するときは、安定した台や床の上に置いて落下や転倒を避けてください。
- 画面は、水または中性洗剤で軽く濡らした、やわらかくてきれいな布を使用してください。液晶モニター用の特別なティッシュ、または静電気防止コーティングを痛めない素材を使用することをお勧めします。
- キャビネットは、中性洗剤で軽く濡らした布を使用してください。
- 発火性のあるもので液晶モニターを掃除するのは避けてください。

困ったときは

表4. 画像関連

症状	対処	参照先
画面に何も表示されず、電源ランプが消えている	■電源コードが接続され、液晶モニターの電源がオンになっているのを確認してください。	セットアップ p.12
「接続を確認して下さい」のメッセージが表示される。	■信号ケーブルがコンピューターまたはオーディオ機器に接続されているかを確認してください。 ■コンピューターまたはオーディオ機器の電源がオンになっているかを確認してください	セットアップ p.12
「無効な入力信号です」のメッセージが表示される。	■最大解像度とビデオアダプターの周波数を確認してください。 ■現在の数値を、画面モードのタイミングチャートにある数値と比較してください。	画面モードについて p.37
画像が明るすぎる、または暗すぎる	■明るさとコントラストを調整してください。	画像の輝度をはっきりさせる p.19 画像を明るくする (暗くする) p.19
水平方向にノイズが発生する	■微調整をしてください。	微調整 p.20
垂直方向にノイズが発生する	■粗調整を最初に調整し、その後微調整をしてください。	粗調整 p.20 微調整 p.20
画面に何も表示されず、電源ランプがオレンジ色に点灯、または0.5～1秒毎に電源ランプが点滅する。	■液晶モニターの節電機能(Power Saver)が作動しています。 ■コンピューターのマウスを動かすか、キーボードのどれか1つキーを押してください。	節電機能(Power Saver) p.36

表4. 画像関連(続き)

症状	対処	参照先
画像が安定せずにゆれて見える	■ コンピューターかビデオボードの解像度と周波数が、液晶モニターの有効モードに設定されているかを 確認してください。 ■ 設定が正しくない場合は、コンピューターの画面設定をし直してください。	画面モード p.36 ビデオドライバーのインストールについて p.12
	❗ 注意 次の周波数の範囲内でマルチスキャン・ディスプレイ機能をサポートしています。	
	■ 水平周波数： 15 1MP: 30 kHz ~ 69 kHz 17 1MP: 30 kHz ~ 81 kHz ■ 垂直周波数： 56 Hz~85 Hz ■ 最大リフレッシュ率： 15 1MP: 1024 X 768 / 85 Hz 17 1MP: 1280 X 1024 / 76 Hz	
画面の中央に画像が来ない	■ 水平位置と垂直位置を確認してください。	画像を横軸方向に移動する p.22 画像を縦軸方向に移動する p.22
モニタードライバーソフトウェアが必要なとき	■ ドライバーを次のホームページからダウンロードしてください。	http://www.samsung-monitor.com

表4. 音声とテレビ関連(続き)

症状	対処	参照先
音声聞こえない	■ オーディオケーブルが、液晶モニターのオーディオ入力端子とオーディオ機器のオーディオ出力端子の両方に接続されているか確認してください。 ■ 音量レベルを確認してください。	セットアップ p.12 サウンド(音)の調整 p.23
音量が低すぎる	■ 音量レベルを確認してください。 ■ 音量を最大に変更しても音量が低い場合は、コンピューターのサウンドカードの音量制御、またはソフトウェアを確認してください。	サウンド(音)の調整 p.23 コンピューターのサウンドカード、またはソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
音質が高すぎる、または低すぎる	■ 高音と低音を最適なレベルに調整してください。	サウンド(音)の調整 p.23
テレビの信号を受信できない	■ チャンネルシステムを確認して、正しいチャンネルシステムを選択しているか確認してください。 ■ チャンネル自動設定を選択し、自動でチャンネルを検索してください。 ■ p. 25 の「テレビチューナーボックスの接続」を参照してください。	NTSC放送システムについてp.37

表 5. 技術と環境仕様

		151MP	171MP
パネル	サイズ 画面サイズ タイプ ピクセルピッチ 視野角度	15.0" 対角線 304.1 (H) × 228.1 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.297 (H) × 0.297 (V) mm 60° /60° /70° /70° (上/下/左/右)	17.0" 対角線 338 (H) × 270 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.264 (H) × 0.264 (V) mm 80° /80° /80° /80° (上/下/左/右)
*周波数	水平走査 垂直走査 最大表示色	30 ~ 69 kHz 56 ~ 85 Hz 16,777,216色	30 ~ 81 kHz 56 ~ 85 Hz (~XGA) 60 ~ 76 Hz (SXGA) 16,777,216色
画面解像度	推奨モード 最大モード	1024 × 768 / 60Hz 1024 × 768 / 85Hz	1280 × 1024 / 60Hz 1280 × 1024 / 76Hz
入力信号	入力同期 ビデオ信号	セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 シンクオングリーン0.3 V _{p-p} 、負極性 0.7 V _{p-p} / 75Ω	
テレビビデオ	カラーシステム サウンドシステム ビデオ形式	NTSC M/N CVBS、S-VHS	
DTV	Y/Pb/Pr RGB ビデオ信号	コンポジットシンク 1080i, 720p, 480p, 480i (米国は除外) セパレートシンク 1080i, 720p, 480p, 480i (米国は除外) 0.7 V _{p-p} / 75Ω	
ビデオ	カラーシステム	NTSC	
電源	入力 出力	90~264VAC、50/60Hz ±3Hz DC12V/4.5A	
消費電力	最大 節電モード	40 W 3 W以下	52 W 3 W以下

* プリセットタイミングモードを参照：37ページ。

表 5. 技術と環境仕様(続き)

		151MP	171MP
寸法/重さ (W/H/D)	液晶モニター本体 スタンド使用時 スタンド収納時	358.6X351.1X51mm/ 3.3kg 358.6X360.1X175.5mm/ 3.5kg 358.6X402.6X51mm/ 3.5kg	412X408.0X58.5mm/ 4.7kg 412.0X418.0X203.0mm/ 5kg 412.0X472.0X58.5mm/ 5kg
環境条件	動作温度範囲 動作湿度範囲 保管温度範囲 保管湿度範囲	1 0℃～4 0℃ 1 0%～8 0% － 2 5℃～4 5℃ 5 %～9 5 %	
オーディオ の特徴	オーディオ入力 1 (Audio input 1) オーディオ入力 2 (Audio input 2) オーディオ入力 3 (Audio input 3) ヘッドフォン出力 周波数 レスポンス	RCA ジャック 赤(R)白(L), 0.5 V(－9dB) 3.5 Φステレオジャック, 0.5 V(－9dB) RCA ジャック 赤(R)白(L), 0.5 V(－9dB) 最大 10mW 出力(3.5Φステレオジャック 32Ω) RF : 80Hz～15kHz (－3 dB) A/V : 80Hz～20kHz (－3 dB)	

■ピン配列

表6. D-sub 15ピンコネクター

ピン	セパレート	コンボジット	シンクオングリーン
1	赤	赤	赤
2	緑	緑	緑+コンボジットシンク
3	青	青	青
4	グランド	グランド	グランド
5	グランド(DDC リターン)	グランド(DDC リターン)	グランド(DDC リターン)
6	赤グランド	赤グランド	赤グランド
7	緑グランド	緑グランド	緑グランド
8	青グランド	青グランド	青グランド
9	接続なし	接続なし	未使用
10	グランドシンク セルフテスト	グランドシンク セルフテスト	グランドシンク セルフテスト
11	グランド	グランド	グランド
12	DDC_SDA	DDC_SDA	DDC_SDA
13	水平同期	コンボジットシンク	未使用
14	垂直同期	未使用	未使用
15	DDC_SCL	DDC_SCL	DDC_SCL

アフターサービス

サムスンの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。
修理などアフターサービスについてのお問い合わせは、「お客様ご相談ダイヤル」
にご相談ください。

■日本サムスン株式会社

●お客様ご相談ダイヤル



0 1 2 0 - 3 6 3 - 9 0 5

受付時間 平日 9:00~19:00
 土日祭日 9:00~17:00
F A X 03-5641-9883
E-mail cyber@samsung.co.jp
ホームページ <http://www.samsung.co.jp>

●本社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1浜町センタービル
T E L (03) 5641-9036
F A X (03) 5641-9861
受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:00

●東京サービスセンター

〒103-0007 東京都江東区大島2-32-8
T E L (03) 3683-0364
F A X (03) 3683-0381
受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:30

索引

A

Auto.....	8、10
DCアダプター	6
D-sub 15ピンコネクター	6、47
DTVを見るには	34
DTVのスクリーンサイズの設定	35
DTVの入力形式の設定	34
Exit(終了)	8、10
OSD.....	15
自動保存機能.....	14
設定固定/解除.....	14
OSDの設定	17
OSDの背景色の変更	18
OSDの表示位置の変更	17
OSDの表示言語の変更	17
OSDの表示時間の変更	18
OSDのピープ音の設定	18
PIP(ピクチャーインピクチャー)	24
PIPサイズの変更	24
PIP表示位置の変更	24

あ

液晶モニターの調整/設定.....	17
明るさの変更.....	19、32、34
コントラストの変更	19、32、34
オーディオ機器選択ボタン.....	7、10
アクティブ 領域の設定.....	33

か

画質選択	22
画像サイズの調整	21
画像の拡大	
(拡大モード1~2/ズーム)	21
拡大した画像の移動.....	21
通常サイズ.....	21
画像の調整	20
色の自動調整 (モード1~3).....	19
色の手動調整 (ユーザモード)	19
色設定のリセット.....	19
粗調整.....	20
設定のリセット.....	20
縦軸移動	22
微調整	22
モードの確認.....	20
横軸移動	20
画面モード	37
困ったときは	42

さ

サウンド(音)の調整.....	23、33、35
サウンド(音)切り替え	23、33、35
高音の調整.....	23、33、35
低音の調整.....	23、33、35
サラウンドを切/入	23、33、35
消音(Mute).....	10
音量ボタン	7、10
ステレオ方式の設定.....	30
セットアップ	12
節電機能(Power Saver).....	36

た

タイマーの設定	33
チャンネルボタン	7、10
テレビを見るには	25
テレビ チューナー ボックスの 接続	25
チャンネルシステムの設定	26
チャンネルの設定	28
受信感度(微調整)の調整	29
ステレオ方式の設定	30
電源(Power) ボタン/電源ランプ	7

は

ビデオ画像(ピクチャー) の調整	32
明るさの調整	32
コントラストの調整	19
色合いの調整	32
色濃度(色調)の調整	32
シャープにする	32
フロントパネル	7
背面	9

ま〜ら

メニュー (Menu)ボタン	8、10
リモートコントローラー	10

メモ

メモ



"As an ENERGYSTAR® Partner, SAMSUNG has
determined that this product meets the
ENERGYSTAR® guidelines for energy
efficiency."

Printed on recyclable paper

P/N : BN68-00199E-02

